

2016（平成28）年度

計 算 書 類

大阪市西区土佐堀1丁目5番6号

学校法人大阪YMCA

資金収支計算書

2016年 4月 1日から
2017年 3月31日まで

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒納付金収入	1,109,500,000	1,113,908,392	△ 4,408,392
手数料収入	7,800,000	11,880,483	△ 4,080,483
寄付金収入	100,000	1,353,948	△ 1,253,948
補助金収入	139,400,000	165,277,102	△ 25,877,102
付随事業収入	588,300,000	527,796,161	60,503,839
受取利息収入	0	9,452	△ 9,452
雑 収 入	11,100,000	74,955,095	△ 63,855,095
前受金収入	300,000,000	379,444,960	△ 79,444,960
その他の収入	38,500,000	186,507,896	△ 148,007,896
資金収入調整勘定	△ 374,000,000	△ 527,719,089	153,719,089
前年度繰越支払資金	521,602,642	521,602,642	0
収入の部合計	2,342,302,642	2,455,017,042	△ 112,714,400

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,186,530,000	1,293,440,969	△ 106,910,969
教育研究経費支出	353,300,000	396,015,403	△ 42,715,403
管理経費支出	246,830,000	212,785,436	34,044,564
借入金等返済支出	29,400,000	30,280,675	△ 880,675
施設関係支出	62,500,000	61,182,400	1,317,600
設備関係支出	2,100,000	3,242,052	△ 1,142,052
その他の支出	98,000,000	184,571,360	△ 86,571,360
資金支出調整勘定	△ 98,000,000	△ 218,373,388	120,373,388
次年度繰越支払資金	461,642,642	491,872,135	△ 30,229,493
支出の部合計	2,342,302,642	2,455,017,042	△ 112,714,400

事業活動収支計算書

2016年4月1日から
2017年3月31日まで

(単位 円)

		科目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	1,109,500,000	1,113,908,392	△ 4,408,392
		手数料	7,800,000	11,880,483	△ 4,080,483
		寄付金	100,000	114,948	△ 14,948
		補助金	139,400,000	161,827,102	△ 22,427,102
		付随事業収入	588,300,000	527,796,161	60,503,839
		雑収入	11,100,000	74,955,095	△ 63,855,095
		教育活動収入計(1)	1,856,200,000	1,890,482,181	△ 34,282,181
	支出	人件費	1,186,530,000	1,232,568,196	△ 46,038,196
		教育研究経費	443,100,000	489,594,177	△ 46,494,177
		管理経費	257,230,000	223,904,566	33,325,434
教育活動支出計(2)		1,886,860,000	1,946,066,939	△ 59,206,939	
		教育活動収支差額(3)=(1)-(2)	△ 30,660,000	△ 55,584,758	24,924,758
教育活動外収支	収入	受取利息	0	9,452	△ 9,452
		教育活動外収入計(4)	0	9,452	△ 9,452
	支出	借入金等利息	0	888,675	△ 888,675
		教育活動外支出計(5)	0	888,675	△ 888,675
			教育活動外収支差額(6)=(4)-(5)	0	△ 879,223
		経常収支差額(7)=(3)+(6)	△ 30,660,000	△ 56,463,981	25,803,981
特別収支	収入	その他の特別収入	0	4,689,000	△ 4,689,000
		特別収入計(8)	0	4,689,000	△ 4,689,000
	支出	その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計(9)	0	0	0
			特別収支差額(10)=(8)-(9)	0	4,689,000
		予備費(11)	0		0
		基本金組入前当年度収支差額(12)=(7)+(9)-(11)	△ 30,660,000	△ 51,774,981	21,114,981
		基本金組入額合計(13)	0	△ 9,400,000	9,400,000
		当年度収支差額(14)=(12)+(13)	△ 30,660,000	△ 61,174,981	30,514,981
		前年度繰越収支差額	△ 3,573,520,831	△ 3,573,520,831	0
		翌年度繰越収支差額	△ 3,604,180,831	△ 3,634,695,812	30,514,981

貸借対照表

2017年3月31日

(単位：円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	3,873,777,140	3,915,038,356	△ 41,261,216
(有形固定資産)	(3,560,307,314)	(3,598,009,778)	△ 37,702,464
(その他の固定資産)	(313,469,826)	(317,028,578)	△ 3,558,752
流動資産	557,219,638	574,981,437	△ 17,761,799
資産の部合計	4,430,996,778	4,490,019,793	△ 59,023,015
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	448,486,564	548,101,337	△ 99,614,773
流動負債	575,080,780	482,714,041	92,366,739
負債の部合計	1,023,567,344	1,030,815,378	△ 7,248,034
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	7,042,125,246	7,032,725,246	9,400,000
繰越収支差額	△ 3,634,695,812	△ 3,573,520,831	△ 61,174,981
翌年度繰越収支差額	△ 3,634,695,812	△ 3,573,520,831	△ 61,174,981
純資産の部合計	3,407,429,434	3,459,204,415	△ 51,774,981
負債及び純資産の部合計	4,430,996,778	4,490,019,793	△ 59,023,015

資金収支内訳表

2016年4月1日から
2017年3月31日まで

収入の部

学校法人 大阪YMCA

(単位 円)

部 門 科 目	学校法人	大阪YMCA インターナショナルスクール	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高 校	大阪YMCA 国際専門学校			総 額
					専門課程	高等課程	計	
学生生徒等納付金収入	0	262,513,804	235,016,597	234,036,172	262,104,385	120,237,434	382,341,819	1,113,908,392
手数料収入	0	2,216,000	2,845,600	2,463,483	3,077,000	1,278,400	4,355,400	11,880,483
寄付金収入	0	1,239,000	0	40,000	0	74,948	74,948	1,353,948
補助金収入	0	9,394,000	0	60,655,177	11,479,521	83,748,404	95,227,925	165,277,102
付随事業収入	2,244,000	25,434,920	226,841,408	0	235,226,139	38,049,694	273,275,833	527,796,161
受取利息収入	9,452	0	0	0	0	0	0	9,452
雑収入	106,025	72,581	4,243,832	2,967,076	67,368,356	197,225	67,565,581	74,955,095
計	2,359,477	300,870,305	468,947,437	300,161,908	579,255,401	243,586,105	822,841,506	1,895,180,633

支出の部

(単位 円)

部 門 科 目	学校法人	大阪YMCA インターナショナルスクール	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高 校	大阪YMCA 国際専門学校			総 額
					専門課程	高等課程	計	
人件費支出	91,097,052	219,899,316	308,604,672	200,207,621	328,860,530	144,771,778	473,632,308	1,293,440,969
教育研究経費支出	0	59,232,144	97,623,621	84,797,679	118,761,930	35,600,029	154,361,959	396,015,403
管理経費支出	43,655,714	12,050,612	21,795,730	20,905,048	97,550,547	16,827,785	114,378,332	212,785,436
借入金等返済支出	20,628,075	0	0	0	6,177,664	3,474,936	9,652,600	30,280,675
施設関係支出	0	61,142,400	0	0	40,000	0	40,000	61,182,400
設備関係支出	511,812	0	2,730,240	0	0	0	0	3,242,052
計	155,892,653	352,324,472	430,754,263	305,910,348	551,390,671	200,674,528	752,065,199	1,996,946,935

事業活動収支内訳表

2016年4月1日から
2017年3月31日まで

(単位 円)

部門	科目	学校法人	大阪YMCA	大阪	YMCA学院	大阪YMCA	総額	
			インターナショナルスクール	YMCA学院	高校	国際専門学校		
教育活動収入	学生生徒等納付金	0	262,513,804	235,016,597	234,036,172	382,341,819	1,113,908,392	
	手数料	0	2,216,000	2,845,600	2,463,483	4,355,400	11,880,483	
	寄付金	0	0	0	40,000	74,948	114,948	
	経常費等補助金	0	9,394,000	0	60,655,177	91,777,925	161,827,102	
	付随事業収入	2,244,000	25,434,920	226,841,408	0	273,275,833	527,796,161	
	雑収入	106,025	72,581	4,243,832	2,967,076	67,565,581	74,955,095	
	教育活動収入計	2,350,025	299,631,305	468,947,437	300,161,908	819,391,506	1,890,482,181	
	教育活動支出	人件費	33,996,883	221,560,356	310,830,360	186,673,629	479,506,968	1,232,568,196
		教育研究経費	0	63,391,444	105,870,281	110,526,389	209,806,063	489,594,177
		管理経費	44,377,214	12,512,712	22,712,030	23,763,778	120,538,832	223,904,566
教育活動支出計		78,374,097	297,464,512	439,412,671	320,963,796	809,851,863	1,946,066,939	
	教育活動収支差額	△ 76,024,072	2,166,793	29,534,766	△ 20,801,888	9,539,643	△ 55,584,758	
教育活動外収入	受取利息	9,452	0	0	0	0	9,452	
	教育活動外収入計	9,452	0	0	0	0	9,452	
	借入金等利息	636,075	0	0	0	252,600	888,675	
	教育活動外支出計	636,075	0	0	0	252,600	888,675	
	教育活動外収支差額	△ 626,623	0	0	0	△ 252,600	△ 879,223	
	経常収支差額	△ 76,650,695	2,166,793	29,534,766	△ 20,801,888	9,287,043	△ 56,463,981	
特別収入	その他の特別収入	0	1,239,000	0	0	3,450,000	4,689,000	
	特別収入計	0	1,239,000	0	0	3,450,000	4,689,000	
	特別支出	その他の特別支出	0	0	0	0	0	0
		特別支出計	0	0	0	0	0	0
	特別収支差額	0	1,239,000	0	0	3,450,000	4,689,000	
	基本金組入前当年度収支差額	△ 76,650,695	3,405,793	29,534,766	△ 20,801,888	12,737,043	△ 51,774,981	
	基本金組入額合計	0	0	0	0	△ 9,400,000	△ 9,400,000	
	当年度収支差額	△ 76,650,695	3,405,793	29,534,766	△ 20,801,888	3,337,043	△ 61,174,981	

学校法人 大阪YMCA

財 産 目 録

(2017年3月31日現在)

(単位 円)

I 資産総額		4,430,996,778
内 1 基本財産		3,376,816,037
2 運用財産		1,054,180,741
II 負債総額		1,023,567,344
III 正味財産		3,407,429,434
[1]資産		
1 基本財産		
(1) 土地		
計		1,088,072,424
(2) 建物		
計		2,280,171,130
(3) 構築物		
計		1,653,703
(4) 図書		
計		2,358,071
(5) 教具・校具及び備品		
計		31
(6) 電話加入権		
計	1	4,560,678
2 運用財産		
(1) 預金・現金		
ア 預金		
計		485,848,123
イ 現金		
計		6,024,012
(2) 不動産		
ア 土地		
計		2,000,000
イ 建物		
計		174,202,904
(3) 教具・校具及び備品		
計		11,849,051
(4) ソフトウェア		
計		7,531,179
(5) 敷金等		
計		745,890
(6) 未収入金		
計		47,689,516
(7) 前払金		
計		17,657,987
(8) 貸付金		
計		300,612,079
(9) その他		
計		20,000
[2] 負債		
1 固定負債		
(イ) 長期借入金		107,140,000
(ロ) 退職給与引当金		341,071,564
(ハ) 預り敷金		275,000
計		448,486,564
2 流動負債		
(イ) 短期借入金		29,342,000
(ロ) 前受金		379,444,960
(ハ) 未払金		118,846,258
(ニ) 預り金		47,447,562
計		575,080,780

平成28年度 事業報告書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

学校法人 大阪YMCA

学校法人大阪YMCA 平成28年度 事業報告書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

1 法人の概要

1 設置する学校・学部・学科等

(1) YMCA学院高等学校

通信制課程(単位制) 総合学科

(2) 大阪YMCA学院

総合日本語学科、実用日本語学科

(3) 大阪YMCA国際専門学校

外国語専門課程

英米語学科、英米語専攻科

日本語学科2年コース、日本語学科1.5年コース

進学日本語学科

ビジネス専門課程

国際ホテル学科、国際ビジネス学科

国際高等課程

国際学科、表現・コミュニケーション学科

教育社会福祉専門課程

スポーツ&ウエルフェア学科、社会体育専攻科

(4) 大阪YMCAインターナショナルスクール

幼稚部、初等部、中等部

2 学部・学科等の入学定員、学生数の状況

(1) YMCA学院高等学校

課程	学 科	学則定員
通信制課程(単位制)	総合学科	1,750

(2) 大阪YMCA学院

学 科	学則定員
総合日本語学科(1年コース)	40
総合日本語学科(1年半コース)	40
総合日本語学科(2年コース)	40
実用日本語学科(2年午前コース)	90
実用日本語学科(2年午後コース)	90
合 計	300

(3) 大阪YMCA国際専門学校

課程名	学科名	学則定員
ビジネス専門課程	国際ホテル学科	80
	国際ビジネス学科	80
国際高等課程	国際学科	90
	表現・コミュニケーション学科	90
外国語専門課程	英米語学科	40
	英米語専攻科	25
	日本語学科2年コース	140
	日本語学科1.5年コース	100
	進学日本語学科	60
教育社会福祉 専門課程	スポーツ&ウエルフェア学科	80
	社会体育専攻科	20
小 計		805
ビジネス専門課程	国際ビジネス科Ⅱ部	200
小 計		200
合 計		1,005

(4) 大阪YMCAインターナショナルスクール

学科	学則定員
幼稚園部	60
初等部	125
中等部	60
合計	245

3 役員・教職員の人数（平成28年5月1日現在）

(1) 役員

理事 9人（うち、理事長1人、常勤理事4人）

監事 3人（うち、常勤監事0人）

(2) 教員

YMCA学院高等学校

	専任			非常勤 講師	任期制 助手	合計
	教員	助手	計			
通信制課程	15	0	15	118	0	133

大阪YMCA学院

	専任			非常勤 講師	任期制 助手	合計
	教員	助手	計			
文化教養	9	0	9	44	0	53

大阪YMC A国際専門学校

	専 任			非常勤 講 師	任期制 助 手	合 計
	教 員	助 手	計			
ビジネス専門課程	2	0	2	17	0	19
国際高等課程	17	1	18	54	1	73
外国語専門課程	10	4	14	56	8	78
教育社会福祉専門課程	1	1	2	11	0	13
計	35	7	42	162	9	213

大阪YMC Aインターナショナルスクール

	専 任			非常勤 講 師	任期制 助 手	合 計
	教 員	助 手	計			
文化教養	17	4	21	3	1	35

(3) 職 員

区分	専任職員	兼務職員	合 計
YMC A学院高等学校	9	2	11
大阪YMC A学院	7	1	8
大阪YMC A国際専門学校	18	5	23
大阪YMC Aインターナショナルスクール	8	2	10
合 計	39	9	48

2 事業の概要

1 事業の概況

時代に即した教育、時代と社会の変化を見通した教育を展開するため、学校法人大阪YMC Aは大阪YMC Aの他法人と連携して、長期的なVISION (VISION2020) を10年単位で策定しています。

大阪YMC A VISION2020の願いは、

- 1) ネットワーク型福祉社会を実現する (=人が繋がるあたたかな社会を作る)
 - 2) 未来に希望を持ちチェンジメーカーとなる青年を育む (=社会をよりよく変えていく)
- の2つです。

とりわけ学校法人は、時代が求める教育を探求するため、また現状の教育の課題に応えるため、学校の枠を超えた事業運営を進め、選択と集中を行うことで効率化を推進しました。また、グループ法人との連携を密にして、他法人を社会経験の場として利用しながら、学校法人の教育効果を高めています。

大阪YMCAの学校事業の目標は、1) **Global Leadership Development** 今後のグローバル社会の進展をかんがみて、その推進者となりえる青少年を育成する。2) **Youth Development** 不登校や発達障害児童など、課題を抱えている青少年に対しての居場所として、彼らを受け止め、次のステージへと誘導していく。3) **Social Responsibility** 大阪Y他法人との対象領域別の連携を強化し、社会のニーズに対応したプログラム展開(子育て支援・シニア事業・多文化共生・放課後デイ・児童デイ・学童保育など)を推進する。以上の3分野を学校法人が力点を置いている分野として明確にすることにより、地域・保護者の理解を得ると同時に、教職員の働く上でのモチベーションの強化にもつながっています。

結果として、事業としては、学院高等学校を除くすべての事業において生徒数を確保できており、予算規模として大幅に伸長した1年でありました。また、学院高等学校の再生に向けての取組みを開始した1年でした。

2 主な事業の目的・計画および進捗状況

- (1) 多様化してきている高校生に対して、合理的な配慮を行いながら学校への定着を図り、卒業へと導いていく。また、学び直しのプログラムを積極的に実施し、学校への定着をはかる。

YMCA学院高等学校は、比較的小となしくなっている生徒に対応した教育を行う必要を感じ、今までの自学自習のスタイルから「学びなおし」や丁寧な対応をする指導体制に変わってきています。マイスペクラス(個人のペースで学習できるクラス)の充実を図ると同時に、もっと生徒に丁寧にかかわるような指導方法に変更してきています。また、スタンダードクラスに加えて、グローバル・ウェルネス・アドバンスト・マイスペ+の4つのクラスをスタートし、生徒の興味に応じて特徴あるカリキュラムを準備しました。

大阪YMCA国際専門学校高等課程は、国際学科と表現・コミュニケーション学科の一体的な運営を目指してガバナンスを一本化し、双方の特徴を活かしながらスケールメリットをいかす運営を行いました。また、同一法人にある学院高等学校との連携も密にし、出席日数が足りず留年しそうになった高等課程の生徒を学院高校にて受け止め、卒業まで導くことができました。

表現・コミュニケーション学科では、サポートクラス(発達障害の児童を対象とした、週一回の学習サポート及びソーシャルスキルトレーニングのクラス)や総合教育センターとの連携をさらに強め、個々の生徒への高いカウンセリング機能や指導体制を持ち、生徒が安心して学校生活を送ることのできる環境の整備をさらに進めました。

国際学科は3年生が卒業し、新国際学科の1・2年を中心とした学校になりました。2年時を利用して海外への留学を行う生徒も増えてきています。また、YMCAの世界的なネットワークを利用し、世界につながる学校として、海外よりインターンの受入やデンマークをはじめとした海外研修を実施しました。日本国内においても昨年に引き続き六甲山YMCAで12カ国100名のユースが参加したグローバルユースカンファレンスを実施し、海外のユースと英語を通して社会問題等のディスカッションを行いました。

学院高等学校は、生徒数が大幅に減少したこともあり、平成29年4月より今まで大阪

YMC A学院が使っていた夕陽丘校舎への移転の準備を行い、3月末に移転を完了しました。

(2) 留学生の留学目的も多様化してきており、その目的に対応できるように、学校のカリキュラムを変化させ、留学生の満足度をあげていく

留学生を受入れている大阪YMC A国際専門学校語学・ビジネス専門課程、日本語学科、大阪YMC A学院は、「留学生事業部」として一体的な運営を行いました。

日本の円安の影響もあり、日本に留学する留学生の数は飛躍的に伸びてきています。また、自国にて大学卒業をした生徒が、日本での就職をもとめて留学してくるケースも増えてきました。

大阪YMC A学院日本語学科の実用コースを非漢字圏の国の留学生を対象としたコースに変え、土佐堀にあります大阪YMC A国際専門学校日本語科を漢字圏を対象とした日本語教育を行うようにしました。結果として、来日前の日本語力に基づいた効果的な教育を行うことができました。また、非漢字圏の国からの留学生が増大しました。

大阪YMC A国際専門学校 語学・ビジネス専門課程では、職業実践専門課程としての認定を受け、産官学連携によるより充実した指導体制で学生支援に取り組んでおり、留学生の日本における就労支援を進めることができました。また、その一環として在阪の一流ホテルと協働して進めているホテルインターンシッププログラムは、日本人学生と共に東アジアの各国留学生の育成の場になっています。

上町にありました大阪YMC A学院は、学生数が増大し、施設に入りきれなくなったため、今まで学院高校が使用していた校舎への移転を準備し、3月末に移転を完了しました。

(3) 外国籍の児童や複数の国籍をもっている児童・生徒に対する教育および受入教育機関として役割を果たす。

語学事業は教育の質をより向上させるために取り組んでいる指導体制の強化、カリキュラム整備、指導方法の再整備が効果を上げています。

とりわけ大阪YMC A学院の日本語学科は、実用日本語クラスを中心に留学ビザ以外の家族滞在ビザ、配偶者ビザ、宗教ビザなどで在阪している外国人受講者のニーズに大きく応えることができました。留学生ではなく、在日の外国籍の方々の日本への定着のための日本語教育機関としての機能を果たしてきています。

インターナショナルスクールは、中津校舎に幼稚園クラスの校舎を増築し、理科室を充実させるなど教育環境を充実させました。また、IBの認定も受け、インターナショナルスクールとしての評価が大きく伸張したことにより、各国の大使館・領事館からの問い合わせも増えてきました。専門学校高等課程国際学科とともに外国籍の児童・生徒、複数の国籍を持つ生徒、帰国子女等を対象とした教育機関としての役割も果たしてきています。

3 財務の概要

平成28年度決算の概要

① 【 資金収支計算書 】

(1) 収入の部

高校生事業の学院高等学校の在籍性の減少がありましたが、その他の高校生事業・留学生事業・国際・語学事業（大阪YMCA国際専門学校・大阪YMCA学院・大阪YMCAインターナショナルスクール）が過去最高の生徒・学生数を確保してきており、予算を大幅に超える収入を確保することができました。

(2) 支出の部

生徒数の増加に伴い支出も増額となりました。また、生徒数の増加に伴い教職員の数も増大してきており、人件費支出も大幅な増となっています。国際・語学事業の幼児英語教育事業は、カリキュラムの充実とクラスの拡大にそなえて人的な増員を図りました。結果として予算を大きく上回る支出となりました。また、インターナショナルスクールの校舎増築に関する諸経費も増えてきています。

② 【 事業活動収支計算書 】

(1) 事業活動収入の部

高校生事業の学院高校の在籍性の減少がありましたが、その他の高校生事業・留学生事業・国際・語学事業（大阪YMCA国際専門学校・大阪YMCA学院・大阪YMCAインターナショナルスクール）が過去最高の生徒・学生数を確保してきており、予算を大幅に超える収入を確保することができました。

(2) 事業活動支出の部

生徒数の増加に伴い支出も増額となりました。また、生徒数の増加に伴い教職員の数も増大してきており、人件費支出も大幅な増となっています。また、新たな借入に伴い借入金の返済を開始しました。インターナショナルスクールは、幼稚園の校舎を増築しました。

③ 【 貸借対照表 】

(1) 資産の部

固定資産は、インターナショナルスクールの幼稚舎の増築のため増額となっています。また、

事業が好調なため流動資産が増額となりました。

(2) 負債の部

特記することはありません。

(3) 基本金の部

基本金は9,400,000円繰り入れを行いました。

(4) 事業活動収支差額の部

学院高校を除くすべてに事業が順調で収入が大幅に増加しましたが、事業拡大に伴う人件費支出も増加しているため、結果として当年度事業活動収支差額は▲61,174,981円となりました。

4 今後の課題

昨今の厳しい経済状況の中、私立学校を取り巻く経営環境は大きく変化しています。そして、公立高等学校の授業料無償化はその変化をより大きなものにしていきます。安定的な学校経営を行うために、教育内容をさらに充実させ、すべての学生・生徒にとって魅力的な学校作りが必要です。

とりわけ学院高等学校の再生はきわめて重要な課題です。管理監督職を抑制し、人件費を抑えてきましたが、現事業の体制の継続は困難であると判断せざるをえません。夕陽丘校舎への縮小移転を実現させ、人員体制をスリムにすることで、事業の継続を図る段階に来ています。

中期計画では、グローバル人材を育成することを明確にして事業展開を行い、語学国際事業及び留学生事業に重点をおいた展開を行っています。

高校生事業にも多くの外国籍の生徒が入学してきており、学校法人全体で600名を超える児童・生徒・学生が全日制の学校に在籍しています。学校として多様化した児童・生徒・学生に対応できる仕組みを作ることが求められており、さまざまな場面で児童・学生・生徒を支援する取り組みのより一層の充実が求められています。

とりわけ不登校や発達障がいのある児童・生徒の数は増大してきており、合理的配慮を含めた対応が求められてきております。多様化してきている学生・生徒・児童に寄り添いながら、個々の目的と性格に基づいた丁寧な対応が必要となってきました。

監 査 報 告 書

2017年5月15日

学校法人 大阪YMCA

理事長 末岡 祥弘 殿

監 事 萩原 義明

監 事 水 口 美 里

監 事 文 字 文 男

私たちは、学校法人大阪YMCAの2016年度（2016年4月1日より2017年3月31日まで）の財産の状況につき監査を行いました。

監査の結果、計算書類に記載された内容は、正確かつ妥当なものであり、

また、理事の業務執行は法令および寄付行為に従って、誠実に行われている

ものと認めます。

以 上